

資料名 まが玉

よみがな まがたま

時 代 縄文時代

大きさ 長さ約3cm

出土場所 加須市 長竹遺跡

解 説 昔の日本で作られたアクセサリーのようなものです。
素材は滑石(かっせき)というやわらかい石で作られています。
昔の人にとっては、①お守り②身分を表すもの③おしゃれといった特別な意味を持つ大切なものだと考えられています。

まが玉の形は、いくつかの説があります。

- ①動物の牙(きば)のまねをした。
- ②赤ちゃんの形をしている。
- ③太陽と月を表す。
- ④魔よけの形

(参考:埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書441集)